

科目名	卒業研究・制作	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	実習 80% 講義 20%
時間数	240	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

研究成果を論文として論理的に整理するとともに、その内容を制作を通して創造的に表現し、研究および制作の成果を発表することができる。

【科目の概要】

各自が設定した研究テーマについて調査・分析を行い、その成果を論文としてまとめるとともに、研究内容を基盤とした作品制作に取り組む。研究と制作を相互に関連付けながら思考と表現を深め、最終的に研究論文と制作作品を成果としてまとめ、展示および発表を通して広く発信することを目的とする。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1,2	卒業研究・企画立案	61,62	製作 卒業研究・上田学園コレクション等
3,4	卒業研究・企画プレゼン	63,64	製作
5,6	企画	65,66	製作
7,8	企画	67,68	製作
9,10	企画	69,70	製作
11,12	企画	71,72	製作
13,14	企画	73,74	卒業研究・製作 トワール審査
15,16	企画	75,76	卒業研究・製作 トワール審査
17,18	企画	77,78	製作 卒業研究・上田学園コレクション等
19,20	卒業研究・企画プレゼン	79,80	製作
21,22	サンプル製作	81,82	卒業研究・製作 仮縫い審査
23,24	サンプル製作	83,84	卒業研究・製作 仮縫い審査
25,26	サンプル製作	85,86	製作
27,28	サンプル製作	87,88	製作
29,30	サンプル製作	89,90	製作
31,32	サンプル製作	91,92	中間発表
33,34	中間発表	93,94	製作
35,36	サンプル製作	95,96	製作
37,38	サンプル製作	97,98	卒業研究・製作 確認
39,40	サンプル製作	99,100	製作
41,42	サンプル製作	101,102	製作
43,44	サンプル製作	103,104	製作
45,46	サンプル製作	105,106	製作
47,48	プレゼンテーション	107,108	製作
49,50	まとめ	109,110	製作
51,52	まとめ	111,112	まとめ
53,54	まとめ	113,114	まとめ
55,56	まとめ	115,116	まとめ
57,58	前期末プレゼンテーション評価会	117,118	後期末プレゼンテーション評価会
59,60	前期末プレゼンテーション評価会	119,120	卒業展

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

『洋裁』 服飾手帖社刊

【教材・教具】

実習用具一式 製図用具一式 筆記用具 コンピュータなど

科目名	卒業論文	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	240	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

大学生の卒業論文にあたる「研究論文」作成の指導を通して、論理的思考、研究、調査、文章作成方法などを習得する。

【科目の概要】

任意に設定した「研究論文」テーマの個人面談、先行研究の通読、研究調査資料の作成、文書作成、必要に応じ特別講義などを実施する。なお、授業は「文書作成」と「研究調査資料作成」の二つに分け、それぞれの教員により指導する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	年間予定 論文とは 卒業生の論文 マインドマップ		61 後期予定 経過チェック
	文書トレーニング		論立ての背景 研究目的 仮説の再検証
	論文演習① 論文タイトル 「テーマ」+「問い」		調査票質問項目 実施計画
	論文演習② 専門用語の定義		本論中盤の執筆
20	先行研究の要約		調査実施と集計、分析
	論文演習③ 参考文献について		80 調査結果の図、グラフ作成
	論文演習④「問い」作成 (はじめに・問題の背景)		本論後半の執筆
	論文演習⑤「目次」「キーワード」作成		調査結果のまとめ
40	論文演習⑥ 調査方法とデータについて		結論と残された課題のチェック
	「研究論文」中間発表 パワーポイント準備		100 研究論文まとめ(アッセンブリー)校正
	「研究論文」中間発表		推敲と清書
60	前期試験		後期末プレゼンテーション評価会
			プリントアウト、製本
			120 後期試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、試験(口頭試問) 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

『この一冊でちゃんと書ける! 論文レポートの基本』日本実業出版社(2012/2/23)

【教材・教具】

筆記用具 PC 研究資料など
画像投影用TVモニター

科目名	ファッションビジネスプランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 20 % 実習 20 %
時間数	120	作成者	千代幸和・千代未沙

【科目の到達目標】

各自が実行可能な事業計画を立案できるようになることを目標とする。

また、単なるアイデアにとどまらず、実社会での実現可能性を踏まえて構築する力を養う。

事業を成立させるための視点や考え方を身につけ、自ら価値を生み出し行動できる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

実際の事業事例をもとに、ディスカッションを交えながらビジネスの考え方を学ぶ。企画立案やコンペを通して、事業計画へと具体化していく。また、課外授業では実在する空間や資源を題材に企画提案に取り組み、実現性のある提案については、事業展開の機会も想定し、実社会との接点を持ちながら、実践的な理解を深める。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1,2	オリエンテーション・コンペ説明	31,32	事業事例・ディスカッション
3,4	コンペ企画書作成	33,34	課外学習
5,6	コンペプレゼン・投票・チーム決め	35,36	課外学習
7,8	コンペ企画書作成	37,38	コンペ説明・企画立案
9,10	事業事例・課題	39,40	事業事例・コンペ企画書作成
11,12	事業事例・課題	41,42	事業事例・コンペ企画書作成
13,14	コンペ企画書作成・課題	43,44	事業事例・コンペ企画書作成
15,16	事業事例・課題	45,46	コンペ企画書作成
17,18	コンペ企画書作成・課題	47,48	コンペ企画書作成
19,20	コンペ最終企画書作成	49,50	コンペ企画書作成
21,22	事業事例・課題	51,52	事業事例・ディスカッション・課題
23,24	課外学習	53,54	課外学習
25,26	課外学習	55,56	課外学習
27,28	課題	57,58	事業事例・ディスカッション・課題
29,30	課題プレゼン	59,60	課題プレゼン

【成績評価方法】

出席率10% プレゼン30% 課題60%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具、PC、モニター

科目名	ファッションデザイン&プランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	実習 80% 講義 20%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

アパレルブランド運営で求められる広告媒体や販促商品など商品以外にも関わる創作物をオリジナルで提案、制作するデザイン技術を習得する。

【科目の概要】

PC技術の基礎から応用まで演習を繰り返し Adobeをはじめとするグラフィックソフト、平面デザインおよび3Dモデリングや動画作成など多様なグラフィック作品を作成する。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1・2	NY研修プレゼンリハ	31・32	illustrator演習 オリジナルTシャツデザイン
3・4	プレタ展 ジャーナル製作	33・34	illustrator演習 オリジナルTシャツデザイン
5・6	プレタ展 ジャーナル製作	35・36	企画マップ作成
7・8	プレタ展 ジャーナル製作	37・38	企画マップ作成
9・10	プレタ展 ジャーナル製作	39・40	Adobe 動画作成ツール 演習 トレーニング
11・12	スカーフ作成	41・42	Adobe 動画作成ツール 演習 トレーニング
13・14	スカーフ作成	43・44	Adobe 動画作成ツール 課題①
15・16	スカーフ作成	45・46	Adobe 動画作成ツール 課題①
17・18	3Dソフト インストール 手順説明・トレーニング	47・48	Adobe 動画作成ツール 課題①
19・20	3Dソフト キャラクター作成	49・50	Adobe 動画作成ツール 課題② 論文紹介動画
21・22	3Dソフト キャラクター作成	51・52	Adobe 動画作成ツール 課題② 論文紹介動画
23・24	3Dソフト キャラクター作成	53・54	Adobe 動画作成ツール 課題② 論文紹介動画
25・26	3Dソフト プリンター出力	55・56	Adobe 動画作成ツール 課題② 論文紹介動画
27・28	3Dソフト プリンター出力	57・58	展示会準備 ポスター製作
29・30	テスト	59・60	テスト

【成績評価方法】

課題60% 試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

必要に応じてプリント配布

【教材・教具】

筆記用具・PC・配布プリント

科目名	リーダーシップ論	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	講義 50% グループワーク50 %
時間数	30	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

■前期の目標: リーダーシップ論を学び、リーダーとして素晴らしい現実の人物をあげて、そのリーダーシップがどのように素晴らしいのかをクラス全員にプレゼンする。

【科目の概要】

就職前に習得しなければいけない知識として、チームをまとめる上でのマネージメントスキルです。リーダーシップ論として、アパレルメーカーに就職した後、現場で役立つような実戦的な内容となっています。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 リーダーシップとは、ジェフベゾス(アマゾン)
- 2 イーロンマスク(スペースX・テスラ)
- 3 松下幸之助(パナソニック)
- 4 坂本龍馬のリーダー像
- 5 渋沢栄一のリーダー像
- 6 稲盛和夫のリーダー像
- 7 スティーブ・ジョブズのリーダー像
- 8 ボブ・マーリーのリーダー像
- 9 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康のリーダー像
- 10 本田宗一郎のリーダー像
- 11 北里柴三郎・津田梅子のリーダー像
- 12 ビル・ゲイツのリーダー像
- 13 プレゼン
- 14 プレゼン
- 15 フィードバック

【成績評価方法】

プレゼンテスト30%、提供課題60%、授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

世界のリーダーの実例をあげリーダーシップを学びます。

【教材・教具】

科目名	トレーニングタイムⅢ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	実習80% 講義20%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

大学生の卒業論文にあたる「研究論文」作成および、卒業制作のテクニカルなサポートを通して、学生自身の集大成となる成果物を制作する。

【科目の概要】

学科の最終年次の「就職活動」「学内イベント」「卒業制作」「研究論文」に関する時間。
基本的には「研究論文」に必要な項目ごとのレクチャーや実践を通して、提出までのスケジュール管理をする。適宜その他の活動や制作のサポートを行う。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- 1 上田学園コレクション/ミーティング
- 2 上田学園コレクション/デザイン画修正
- 3 上田学園コレクション/プレゼン作成
- 4 上田学園コレクション/ブランドプレゼン作成
- 5 上田学園コレクション/ブランドプレゼン作成
- 6 上田学園コレクション/ブランドヴィジュアルイメージ作成
- 7 上田学園コレクション/ブランドヴィジュアルイメージ作成
- 8 論文サマリーポスター製作
- 9 論文サマリーポスター製作
- 10 論文サマリーポスター製作
- 11 論文修正
- 12 論文修正
- 13 口頭試問準備
- 14 口頭試問準備
- 15 口頭試問準備

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具・PC

科目名	海外研修Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	4年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。
帰国後、報告会にて現地でリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

【科目の概要】

学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。
更に世界のトップブランドの本社見学で、川上から川下までの全体像を観る。
また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

【授業計画】 90分/コマ

- 1～4 研修施設での講義受講（現地ファッションスクールでの授業）
- 5～8 研修施設での講義受講（現地ファッションスクールでの授業）
- 9～12 研修施設（現地ファッションスクール）でのプレゼンテーション・市街地リサーチ
- 13～16 研修先（北米本社初ブランド企業の研修）市街地リサーチ
- 17～24 研修先 MOMA美術館鑑賞 メトロポリタン美術館鑑賞 施設リサーチ
- 25・26 リサーチレポートまとめ（グループワーク）
- 27・28 リサーチレポートまとめ（グループワーク）
- 29・30 発表（海外研修報告会）

【成績評価方法】

現地での出席率・授業態度50% 現地授業理解度30% 研修後のリサーチ課題発表 20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具 カメラ コンピュータなど